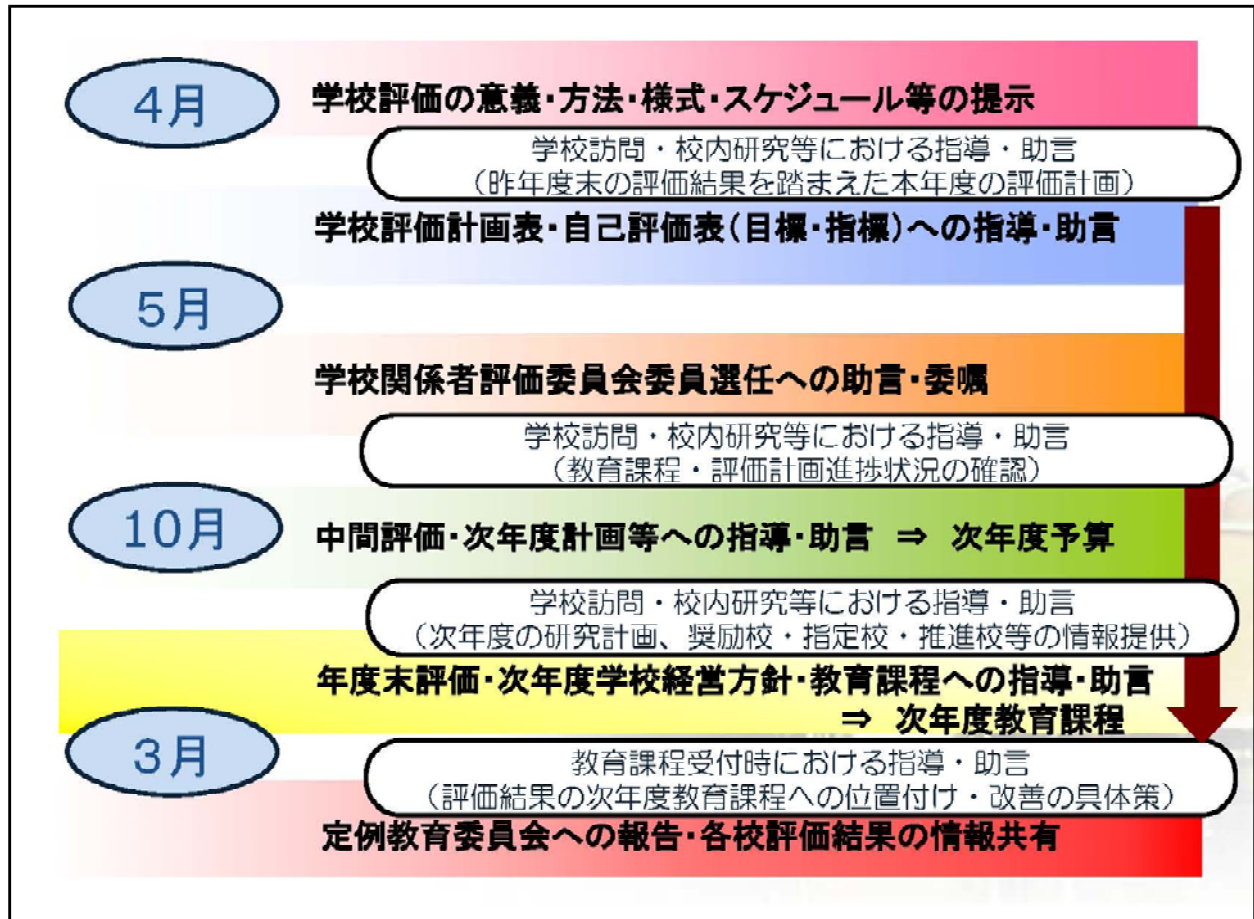


評価の統一様式や年間スケジュールを設置者が提示（東京都武蔵村山市）

4月の定例の校長会において、教育委員会から学校評価の意義、方法、統一様式、年間スケジュールを提示する。これにより学校は計画的に学校評価が行えるようになり、設置者においては評価結果の分析や評価結果を踏まえた計画的な支援が行いやすくなる。



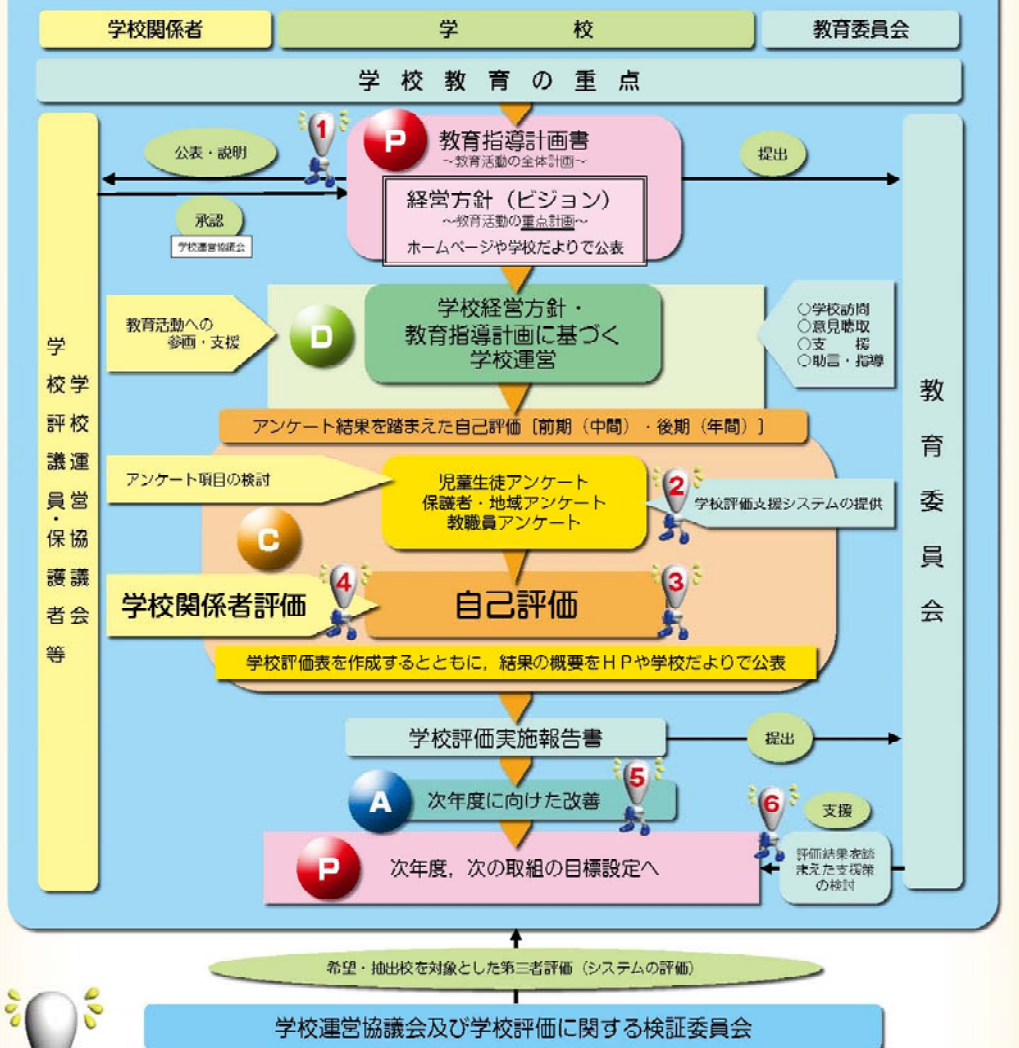
既存の制度を活用して運営改善に能動的に関わる評価者を確保（京都市）

学校運営協議会委員や学校評議員を学校関係者評価委員として位置づけており、学校関係者評価委員は学校の自己評価結果を評価するだけでなく改善策も提示する等、主体的に学校運営に関わっている。

年間を通した学校評価の流れ

学校評価の推進と学校運営の改善

学校は、自己評価を基本とし、学校関係者評価を活用して、組織的・継続的に学校改善を図っていきます。



Point

- 1 学校経営方針、学校評価年間計画、評価項目の策定・公表
- 2 学校の魅力・課題の発見につながるアンケート手法の活用(推奨)
- 3 学校組織としての自己評価を充実させ、評価結果及び改善策を提示
- 4 自己評価結果に対する学校関係者評価の実施と、課題解決に向けた改善策や支援策の協議
- 5 評価結果の教育委員会への報告
- 6 教育委員会は学校に対する様々な支援の情報として評価結果を活用

京都市教育委員会「リーフレット『学校評価をみんなのものに』」より